



-DOIとJaLCの基礎-

<https://japanlinkcenter.org/>

ジャパンリンクセンター事務局

1. 永続的識別子“PID”とは
2. DOIとは
3. DOIを運用する組織
4. JaLCについて
5. JaLCの役割・提供サービス
6. FAQの紹介
7. 宣伝
8. 事前質問へのご回答

1. 永続的識別子“PID”とは

Persistent Identifier (PID)

永続的で変更されることのない識別子。

学術情報流通の世界で現在主流となっているPIDは以下の通り。

- ✓ **DOI**・・・主に学術論文や研究データ等のコンテンツに登録される、学術情報分野の主要識別子。
- ✓ **ROR ID**・・・研究成果に関連する組織に登録される識別子
(RORが定義する「研究組織」とは、研究を実施,生産,管理,さらにはそれらに関連するすべての組織を指す。※)
- ✓ **ORCID**・・・研究プロジェクトに関与する人や論文の著者などに対して登録される識別。

※参照「ROR (Research Organization Registry) とその識別子」

https://www.jstage.jst.go.jp/article/jkg/71/6/71_269/article/-char/ja/

PIDは、とりまとめている機関が一元的に管理しており、
特にこれらのPIDは国際的なコミュニティにより**PIDで管理された情報へのリンクが永続的に保証**されている。
また、**PIDは互いにリンク**され、WEBでオープンに利用可能である。

1. 永続的識別子“PID”とは
2. DOIとは
3. DOIを運用する組織
4. JaLCについて
5. JaLCの役割・提供サービス
6. FAQの紹介
7. 宣伝
8. 質疑応答

2. 国際標準の永続的識別子“DOI”とは

DOI prefix DOI suffix
↓ ↓
DOIの例： 10.1241 / johokanri.57.936

アクセスする際のURL ⇒ <https://doi.org/10.1241/johokanri.57.936>

- Digital Object Identifier
主に学術論文などや研究データなどのコンテンツに登録される永続的な識別子(PID)
- ISOにより標準化された規格(ISO26324:2025)
- DOIの前に、「https://doi.org/」を付けることにより、URLとして機能
- DOIに登録したあと、コンテンツの所在(URL)が代わったとしても、所在情報を適切に更新することで、コンテンツに確実にたどり着く仕組み（DOIは変わらない）
- 基本的に削除ができない (コンテンツが削除されたら墓標ページを表示する)

2. 国際標準の永続的識別子“DOI”とは

★例えば、学術論文に[10.20722/jcul.1421](https://doi.org/10.20722/jcul.1421)というDOIを登録した場合、
<https://doi.org/10.20722/jcul.1421>でアクセスすることで、その論文のランディングページに迷わず到達できる。



The screenshot shows the J-STAGE article page for the article '研究データへのDOI登録実験' (Research Data DOI Registration Experiment) by 武田 英明, 村山 泰啓, 中島 律子. The DOI <https://doi.org/10.1241/johokanri.58.763> is highlighted with a red box. The page includes options to download the full text (HTML or PDF) and metadata in various formats (RIS, BibTeX, etc.).

★引用文献にDOIを記載しておくことで、引用文献の実際のURLが変更されても、アクセスを保証することができる。

- 8) "DOI handbook". International DOI Foundation. <https://www.doi.org/hb.html>, (accessed 2017-03-10).
- 9) 武田英明, 村山泰啓, 中島律子. 研究データへのDOI登録実験. 情報管理. 2016, vol. 58, no. 10, p. 763-770. <http://doi.org/10.1241/johokanri.58.763>, (accessed 2017-03-10).
- 10) ジャパンリンクセンター運営委員会. "研究データへのDOI登録ガイドライン". ジャパンリンクセンター. https://japanlinkcenter.org/top/doc/JaLC_tech_rd_guideline_ja.pdf, (accessed 2017-03-10).
- 11) ヒリナスキエヴィッチ, イアン, 新谷洋子. Scientific Data : データの再利用を促進するオープンアクセス・オープンデータジャーナル. 情報管理. 2014, vol. 57, no. 9, p. 629-640. <http://doi.org/10.1241/johokanri.57.629>, (accessed 2017-03-10).
- 12) 南山泰之. データジャーナル：研究データ管理の新たな試み. カレントアウェアネス・ポータル. 2015-09-20. <http://current.ndl.go.jp/ca1858>, (accessed 2017-03-10).
- 13) Research Data Alliance. <https://www.rd-alliance.org/>, (accessed 2017-03-10).
- 14) RDA/WDS Publishing Data Workflows WG Recommendations. RDA. <https://www.rd-alliance.org/group/rdawds-publishing-data-workflows-wg/outcomes/rdawds-publishing-data-workflows-wg>.

2. 国際標準の永続的識別子“DOI”とは

【DOI登録の意義】

①「**FAIR原則**」に従ったデータ公開の実現を支える

FAIR原則とは・・・

国際的な研究者グループによって明文化された、データなどのデジタルな資産を誰もが見つけやすく、アクセスしやすく、再利用しやすくするための指針。

以下の4つの英単語の頭文字からなる。

発見可能性（**F**indable） / アクセス可能性（**A**ccessible）
/ 相互運用性（**I**nteroperable） / 再利用性（**R**euseable）

コンテンツのデジタル化が進む現代において、データ(コンテンツ)の識別やアクセス性の向上、相互運用性の実現に貢献している DOIは、FAIR原則を支える基盤となっている。

2. 国際標準の永続的識別子“DOI”とは

【DOI登録の意義】

- ②コンテンツへの**アクセスや引用を容易にする**
- ③コンテンツの**利用状況をトラッキングし、その影響力を評価**できる
- ④コンテンツに**半永続的にアクセス**できることで、コンテンツの信頼性や品質向上に役立つ

2. 国際標準の永続的識別子“DOI”とは

【DOIの恒久性を保証するために】

リポジトリ、ランディングページ、メタデータの継続的な管理が必要！

▶ リポジトリとは

コンテンツを蓄積・提供する情報システムのこと。大学や研究機関が研究成果を蓄積・提供する機関リポジトリなどがある。

▶ ランディングページとは

DOIと関連付けられたwebページのこと。DOIを解決(クリック)したときに表示されるページ。

▶ メタデータとは

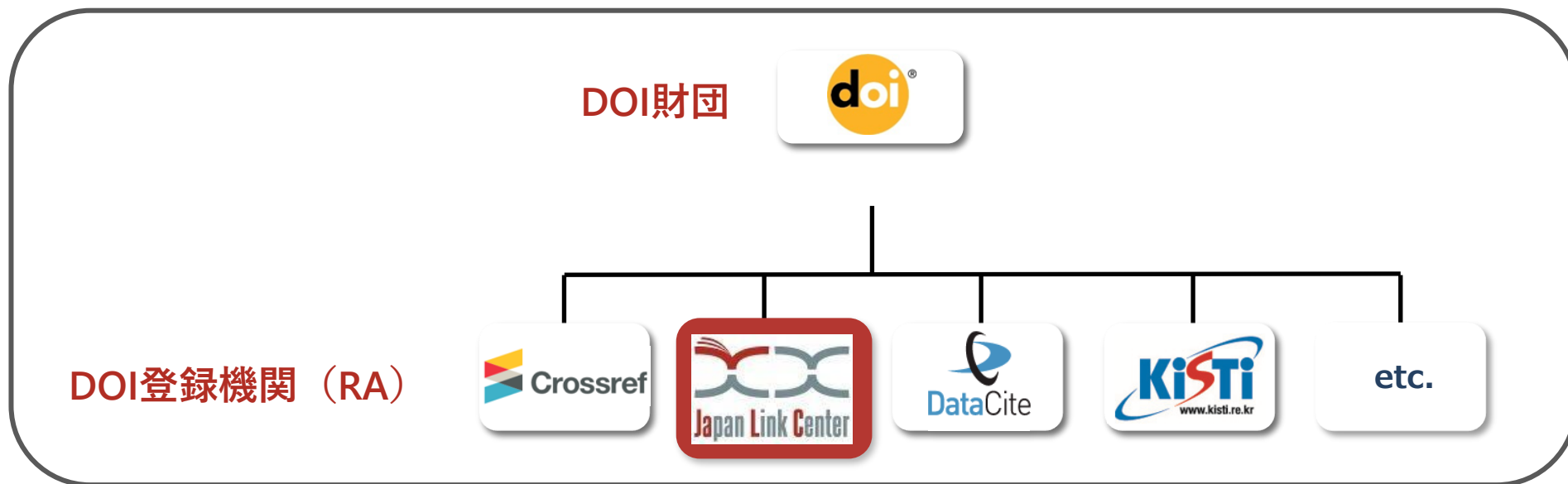
コンテンツを情報検索システムで検索可能とするために、DOIに紐づけられるコンテンツ本体の基本情報のこと。書籍や論文等では書誌情報ともいう。コンテンツにDOI登録をする際に提出が必要。文書であれば著者名・表題・発表年月日・キーワードなどの項目が一般的。**メタデータ**により、検索システムはコンテンツをより効率的に見つけることができ、ユーザーが必要とする情報に素早くアクセスできるため、コンテンツの可視性と流通性が向上する。



参考：https://japanlinkcenter.org/rduf/doc/rduf_rdc_doileaflet.pdf
https://japanlinkcenter.org/top/doc/DOIguideline_2024J.pdf

1. 永続的識別子“PID”とは
2. DOIとは
3. DOIを運用する組織
4. JaLCについて
5. JaLCの役割・提供サービス
6. FAQの紹介
7. 宣伝
8. 事前質問へのご回答

3. DOIを運用する組織



- **DOI財団**：コンテンツのDOIと場所（ランディングページ）のペアをデータベース化して管理している。
- **DOI登録機関(RA)**：DOI財団の認可をうけて、DOIの登録業務を行う。世界で12機関ある(2025.8時点)。日本ではJaLCのみ。RAごとにコンテンツの種類や登録者の範囲等におけるポリシーがある。

参考：https://japanlinkcenter.org/top/doc/DOIguideline_2024J.pdf

3. DOIを運用する組織

【DOI登録機関(RA)のタイプ】

コンテンツに特化



書籍・論文



タレントID



映画など映像媒体



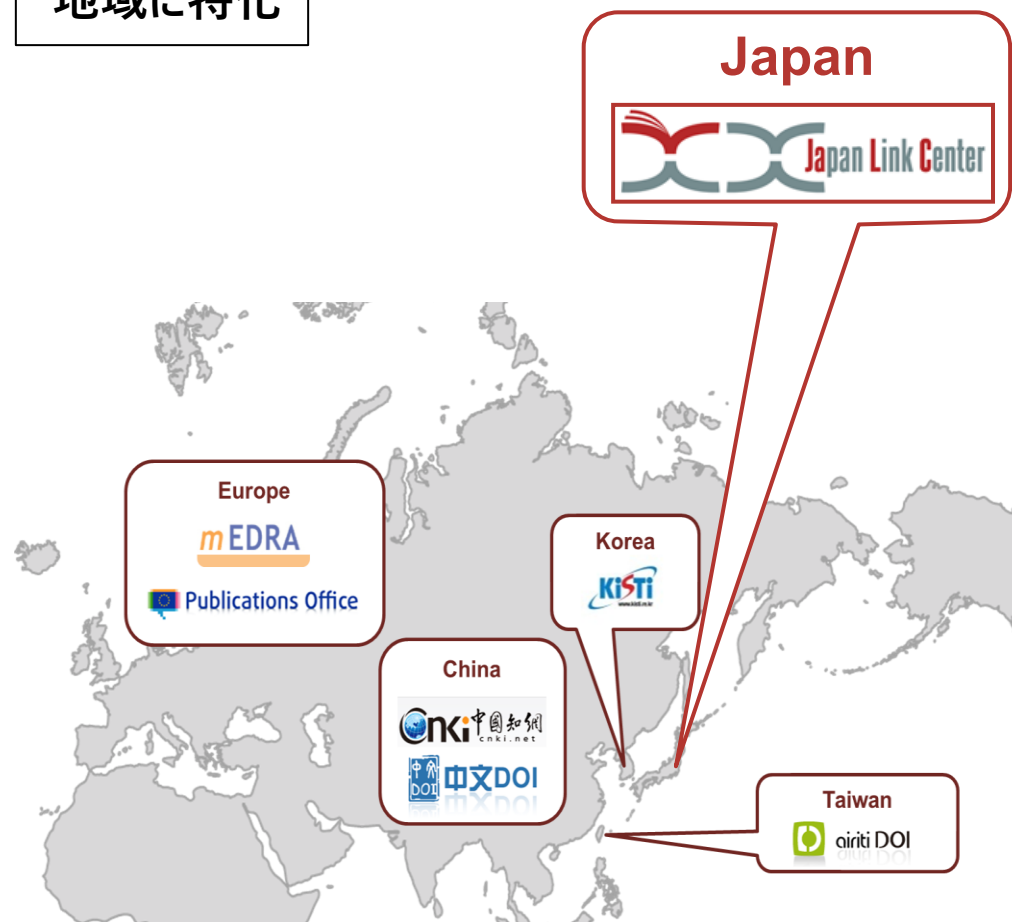
研究データ



建設資材

地域に特化

日本でうみだされた成果や日本語のコンテンツを中心に扱う



※JaLCを通じて、他RA（CrossrefやDataCite）にDOIを登録することも可能。※別途費用あり

1. 永続的識別子“PID”とは
2. DOIとは
3. DOIを運用する組織
4. **JaLCについて**
5. JaLCの役割・提供サービス
6. FAQの紹介
7. 宣伝
8. 事前質問へのご回答

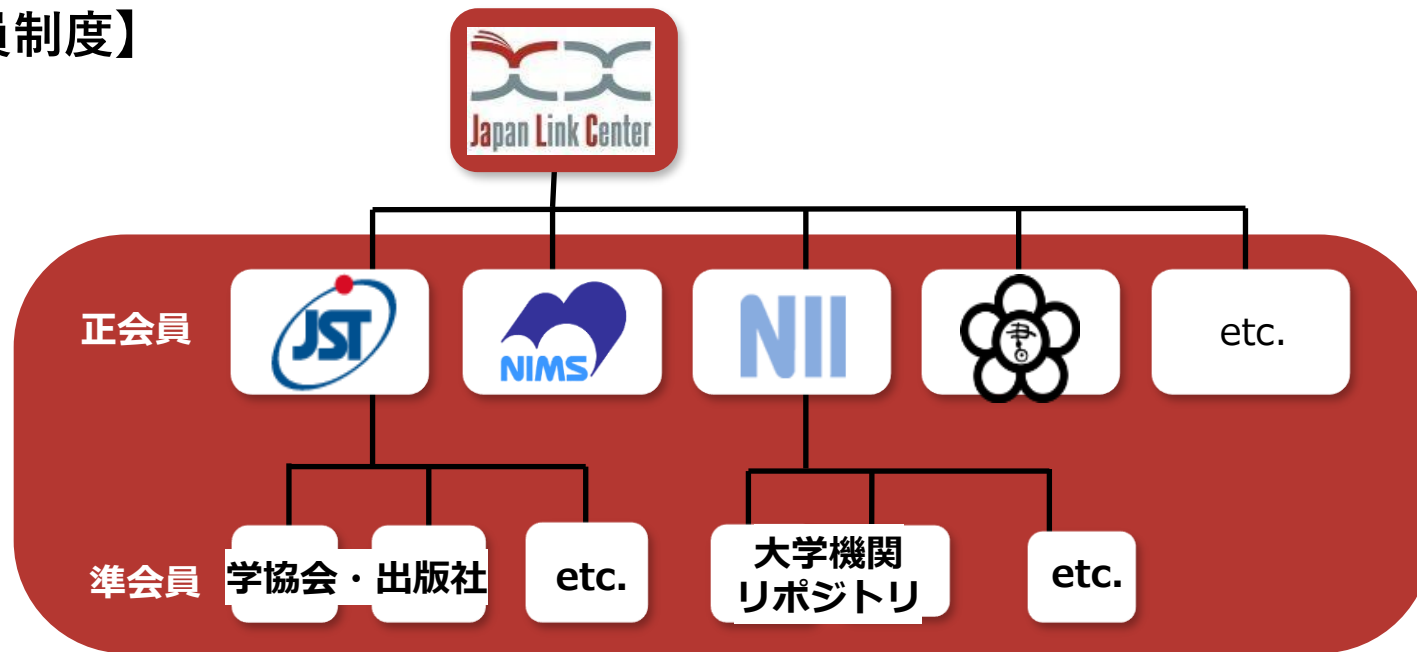
4. ジャパンリンクセンター(JaLC)について



- 国内の各機関が保有する電子化された学術コンテンツ(ジャーナルアーティクル、学位論文、書籍・報告書、研究データ、e-Learning等)の所在情報を一元的に管理し、DOIを登録する**国内唯一のDOI登録機関(RA)**。
- **国内学術機関(4機関)が運営**
 - 国立研究開発法人科学技術振興機構 (JST) ※事務局
 - 国立研究開発法人物質・材料研究機構 (NIMS)
 - 大学共同利用機関法人情報・システム研究機構国立情報学研究所 (NII)
 - 国立国会図書館 (NDL)
- 日本のオープンサイエンスを支える学術情報流通のインフラとして、日本の学術情報発信力向上、研究データ利活用の推進、多様な学術コンテンツの公開・利活用の促進、DOIを活用するコミュニティの活性化に貢献している。

4. ジャパンリンクセンター(JaLC)について

【JaLCの会員制度】



正会員：JaLCに直接DOIを登録する機関。主な正会員は研究所、出版社、大学、図書館、学会など。
現在の正会員数は83機関（2025年8月時点）

準会員：コンテンツの管理は自機関で行い、DOI登録は正会員を通じて行う機関。
※例えばJ-STAGEの参加機関は、JSTの準会員としての位置づけ。
現在の準会員数は3359機関(2025年8月時点)。

1. 永続的識別子“PID”とは
2. DOIとは
3. DOIを運用する組織
4. JaLCについて
5. **JaLCの役割・提供サービス**
6. FAQの紹介
7. 宣伝
8. 事前質問へのご回答

5. JaLCの役割

①JaLCへ登録されたDOIの有効化を行うこと

JaLCへ登録される学術コンテンツのDOI、および所在情報(URL)を含む付随情報をメタデータとして受け入れ、データベースに保管するとともに、

DOIと所在情報(URL)の組み合わせを、DOI財団が提供するハンドルシステムと呼ばれる仕組みに登録することで、DOIを有効化し、コンテンツの永続性を担保する。

【JaLCでDOI登録するには】

JaLCへ入会して正会員となるか、JaLC正会員がとりまとめる準会員となる必要がある。

例えば、機関リポジトリ(JAIRO Cloud)を利用している機関は国立情報学研究所(NII)の準会員、J-STAGEを利用している機関はJSTの準会員である。

JaLCの会員一覧はJaLC公式ウェブサイト参照。

※<https://japanlinkcenter.org/top/doc/listofmembers.pdf>

【JaLCでのDOI登録対象】

登録対象のコンテンツに応じて、ジャーナルアーティクル、書籍・報告書、研究データ、e-learning、汎用データの5つの区分にわけて登録する。

JaLCへのDOI登録方法の詳細や費用についてはJaLC公式ウェブサイト参照。

※https://japanlinkcenter.org/top/service/service_doi.html

5. JaLCの役割・提供サービス

②JaLCへのDOI登録時にもらったメタデータを外部に流通すること

データベースに保管されたメタデータをオープンな形で公開・提供し、さまざまな学術情報サービスに活用してもらうことで、学術情報の流通促進を図る。

例：J-STAGE→JaLC→CiNii

蓄積されたメタデータを流通させること目的に、以下のサービスを提供している。

【JaLC コンテンツ検索】<https://japanlinkcenter.org/app/pub/search>

DOI／タイトル／著者名等を指定し、JaLC DOI登録コンテンツを検索できる。

【JaLC REST API / OAI-PMH】

APIを利用して、JaLCに登録されているメタデータ情報を機械的に取得できる。

【DOI Citation Formatter】

DOIを入力すると任意の引用形式で書誌情報を表示するサービス。

JaLCだけでなく、DataCite、Crossref等、複数のRA(DOI登録機関)において登録されたDOIが対象。

The screenshot shows the 'DOI Citation Formatter' web application. It has a title 'DOI Citation Formatter' in blue. Below it, there is a section 'Paste your DOI:' with a text input field containing '10.18919/jkg.70.8_428'. Below the input field, it says 'For example 10.1145/2783446.2783605'. There are two dropdown menus: 'Select Formatting Style:' with 'apa' selected, and 'Select Language and Country:' with 'en-US' selected. Below these is a 'Format' button. Under the button, there is a preview of the formatted citation: '渡邊仁, 佐藤竜一, & 三村のどか. (2020). DOIとJaLCの活動について. In 情報の科学と技術 (No. 8; Vol. 70, pp. 428-431). 一般社団法人 情報科学技術協会. https://doi.org/10.18919/jkg.70.8_428'. Below the preview is a 'Copy to clipboard' button. At the bottom, there is a link 'Do you want to integrate this service? Check the Documentation'. At the very bottom, there is a section 'DOI Registration Agencies' with logos for DataCite, Crossref, EDRA, 中文DOI, and KISTI.

1. 永続的識別子“PID”とは
2. DOIとは
3. DOIを運用する組織
4. JaLCについて
5. JaLCの役割・提供サービス
6. **FAQの紹介**
7. 宣伝
8. 事前質問へのご回答

6. よくある質問(FAQ)の紹介

Q. 一度登録したDOIは削除できますか？

A. 登録したDOIの削除やDOI名（識別子）の変更は出来ません。

DOIは永続的識別子（PID）の一つであるため、永続的であることが求められるからです。
基本的に、登録したDOIの削除やDOI名（識別子）の変更を行わない運用をお願いします。

DOIを登録したコンテンツの公開を取り下げたい場合は、DOIのランディングページにコンテンツの公開を取り下げた事実、理由を明記してください。

JaLCでは、一度有効になったDOIは登録したメタデータと共に流通され論文の引用等で既に利用されている可能性があるため、コンテンツの公開を取り下げてもDOIとそのメタデータは削除しない運用としています。

※万が一、該当するDOIのランディングページの維持が出来ない場合には取り下げの汎用画面（対象コンテンツが存在しないことを記載したリンク先URL）を設けていますので
こちらを指定することも可能です。



6. よくある質問(FAQ)の紹介

Q. 本文（PDF）が公開されていない場合、個々の報告書のレコードやランディングページには DOI は登録できないのでしょうか？

A.公開が限定されている報告書の PDF に DOI を登録することは可能です。

ただし、DOI を解決した際に表示されるページ (ランディングページといいます) は、公開ページとしてください。ランディングページには、本文 PDF（限定公開可）へのリンクのほか、報告書のタイトルや著者、発行日などの情報、利用の条件、修正履歴などを記載することが望ましいです。

なお、「報告書の PDF」を「論文の PDF」や「研究データのファイル」、「学会発表の動画ファイル」など他のコンテンツやファイル形式に置き換えた場合も同様です。

6. よくある質問(FAQ)の紹介

【JaLC WEBサイト FAQページ】

公式WEBサイトにて、よくある質問（FAQ）をまとめています。

サイト上部のメニューから「FAQ」をご選択ください。

※わかりやすいFAQを目指して、記載の見直しも進めています。

The screenshot shows the JaLC website interface. At the top, the navigation bar includes links for 'お問い合わせ' (Contact), 'FAQ' (highlighted with a red box), 'プライバシーポリシー等' (Privacy Policy, etc.), 'ENGLISH', and 'ログイン' (Login). Below this is a main menu with categories like 'JaLCについて' (About JaLC), 'DOIとは' (What is DOI), 'サービスのご案内' (Service Guide), '入会のご案内' (Joining Guide), '各種資料・情報' (Various Documents/Information), and 'イベント・活動' (Events/Activities). A sidebar on the left offers search options by purpose, such as 'DOIについて知りたい' (I want to know about DOI) and 'DOIを登録したい' (I want to register DOI). The main content area features a section titled '会員制度・入会・費用について' (Membership System, Joining, and Fees), which is highlighted with a red box. This section contains five expandable questions:

- 正会員と準会員のどちらを選択すれば良いですか？
- 複数の正会員の準会員になることや、正会員のまま他正会員の準会員になることは可能ですか？
- 正会員として入会した場合、契約は自動更新になりますか？
- 会費と会員区分について教えてください。
- どういう場合に申請が必要ですか？

A 'ページ上部に戻る' (Return to top of page) button is located at the bottom right of the highlighted section.

1. 永続的識別子“PID”とは
2. DOIとは
3. DOIを運用する組織
4. JaLCについて
5. JaLCの役割・提供サービス
6. FAQの紹介
7. 宣伝
8. 事前質問へのご回答

7. 宣伝①「研究データへのDOI登録ガイドライン」のご紹介

【研究データへのDOI登録ガイドライン】2024年6月3日発行



DOI : https://doi.org/10.11502/rd_guideline_2e_ja

発行者：研究データ利活用協議会 研究データへの DOI 登録促進小委員会
ジャパンリンクセンター運営委員会

研究データについてJaLCを通して DOI を登録することを検討している関係者を対象として、

- ・JaLCやDOIについての基本事項
- ・研究データへのDOI登録についての考え方
- ・具体的な登録作業手順
- ・研究データへのDOI登録の事例

など、研究データへのDOI登にかかわる内容を幅広く・かつわかりやすく解説しています。

ぜひご参照ください！

7. 宣伝②公式メルマガ「JaLC NEWS Public」のご紹介

DOIやJaLCに関する情報を、広く皆様へお届けするため、
JaLC公式メルマガ「JaLC NEWS Public」を月に一度、配信いたします！

< 配信内容 > JaLC関連イベントのお知らせ、JaLC参考情報の提供、FAQの紹介等

< 対象 > 主にJaLC準会員や、DOIやJaLCに関心がある方など

< 購読費 > 無料



★配信登録をご希望の方は、QRコードまたは以下のURLよりお申込ください★

https://form2.jst.go.jp/s/jalc_news

1. 永続的識別子“PID”とは
2. DOIとは
3. DOIを運用する組織
4. JaLCについて
5. JaLCの役割・提供サービス
6. FAQの紹介
7. 宣伝
8. **事前質問へのご回答**

8.事前質問へのご回答

Q. DOI登録後にメタデータの更新は可能ですか？

A.はい。DOI登録後でも、通常はメタデータを更新できます。

たとえば、以下のような場合が考えられます：

- ・メタデータに誤字・脱字が見つかった
- ・ORCIDや資金提供者IDなどの識別子や、ライセンス情報を追加
- ・システムの変更に伴いランディングページのURLが変更になった

DOIそのものは永続的であり、一度割り当てられると変更できませんが、それに関連付けられたメタデータは固定されていません。メタデータ更新後、外部機関(CiNiiなど)によりOAI-PMHを使って新規・更新分のメタデータが収集、更新されます。

*下流のサービス（インデックスデータベース、図書館カタログ、引用管理ツール）への反映には、時間がかかることがあります。

8.事前質問へのご回答

Q. JaLC会員や準会員ではなくなった場合、アイテムにつけられたDOIは無効になりますか？

URL（<https://doi.org/...>）からアクセスできなくなるのでしょうか。

A. JaLCの会員でなくなってもDOIは無効になりません。

一度登録されたDOIは永続的な識別子であり、事情により保有・管理できなくなった場合であっても、DOIとランディングページの関係は維持され、<https://doi.org/...> で引き続きアクセスされます。

しかしこの場合、登録されたコンテンツおよびDOIとそのメタデータの維持・管理を他のJaLC会員に引き継ぐ（移管する）ことが義務付けられています。

*移管されないと、DOIの管理者が不在となるため、DOIのランディングページURLを下記の「墓標ページ」に変更することになります。

墓標ページ：https://japanlinkcenter.org/html/DOI_Not_Found.html

適切な移管先が見つからない場合は、JaLCサポートセンターまでご相談ください

8.事前質問へのご回答（補足資料）

Q. 本学では紀要論文をリポジトリに登録する際、著者に告知した上で論文にDOIに登録していますが、古い紀要論文については遡及してDOIに登録していません。

一度DOIを登録すると取り下げできませんが、検索の利便性やオープンアクセス化の現状を鑑みると、一律にDOIを登録することも検討していくべきでしょうか？

A. 古い研究成果であっても、現在も電子的に公開されており、他の論文等によって引用される可能性があるものは、DOI登録をご検討ください。

DOI登録により、メタデータが学術情報提供サービスに収集されることで、多くの検索サービス、引用管理ツール等で長期的にコンテンツが発見される可能性が高まる利点があります。

一方で、遡及的に全てのコンテンツにDOIを登録する場合、多大なりソースを費やすことや、リポジトリの方針等の記載内容（例：xx年以降のコンテンツをDOI登録など）との齟齬が生じる可能性もあり、場合によっては対象範囲を限定する等の対応も考えられます。

また、過去分を一度に大量にDOI登録したい場合は、JaLCサポートセンターまでご相談ください。

8.事前質問へのご回答（補足資料）

Q. 研究活動で撮影した写真1枚ごとにDOIを登録しても良いですか？

A. DOIは論文等に引用される際の最適な単位で登録することが望ましいです。
写真が1枚ごとに引用される可能性があるならば、1枚ごとにDOI登録することが望ましいです。

また、PDFと同様、コンテンツそのものに直接DOIを登録するのではなく、そのコンテンツがどういったものなのかを説明するページ（ランディングページ）に対してDOIを登録することが推奨されています。

1コンテンツ毎にランディングページを作成することをご検討下さい。

8.事前質問へのご回答（補足資料）

Q.デジタルアーカイブのコンテンツ（学術論文ではなく、所蔵している貴重書等）にDOI登録する上での注意点を教えてください。

A.

論文や研究データと同様に、電子化された画像等をコンテンツとして、そのコンテンツを説明するランディングページに対してDOI登録してください。（DOI登録する単位（全冊or巻など）は、引用される単位であることが望ましいです。）
また、ランディングページの管理、メタデータの質、権利情報、長期的な維持管理などへの注意が必要です。

国文学研究資料館やArchaeology Data Service（ADS）等、国内外のDOI登録・活用事例も参考にしてみてください。

・「新日本古典籍総合データベースにおける古典籍画像へのDOI付与とその運用」国文学研究資料館
（令和3年12月）

https://japanlinkcenter.org/top/doc/2112_t_slide_2.pdf

・Archaeology Data Service（ADS）のDOI活用事例

<https://archaeologydataservice.ac.uk/help-guidance/data-reuse/digital-object-identifiers-doi/>

8.事前質問へのご回答（補足資料）

Q. JaLCに登録された抄録について、公開することに障壁があった事例や、公開したことによるポジティブなフィードバックなどがありますか？

A. 現時点で、JaLCに登録された抄録について、提供元であるJaLC会員やメタデータ提供先からのフィードバックはありません。

JaLCでは、抄録を登録する際「抄録ライセンスフラグ」で利用範囲を指定する必要があり、メタデータとして抄録を入手する際はユーザー登録が必要なOAI-PMHを利用する必要があるなどの制約があるため、登録や利用が限定的な現状があります。

Q. DOI登録した論文内容に軽微な修正が生じた場合、DOIの取下げをせず論文PDFのみ差替えるのは可能でしょうか？

A. 改変の程度によりますが、軽微な修正（誤字脱字の訂正など）の場合は、DOIは取下げず、ランディングページで論文PDFを差し替えて、ランディングページに修正履歴を明記することが望ましいです。
軽微でない場合は別の版として別途公開するなど、最終的には著者や出版社にご判断いただくことになります。

8.事前質問へのご回答（補足資料）

Q. JaLCでは、学術雑誌論文の著者最終稿にDOI登録することを推奨していますか？
著者が希望しない場合には、著者最終稿にDOIを登録する必要はないのでしょうか。

A. JaLCとしての推奨はありません。

著者の所属機関や、投稿先の出版社ポリシー（エンバーゴ）などによりご判断ください。

なお、VOR（出版社版）とは別にDOI登録する場合は、メタデータ項目にその関係性を入力することを推奨しています。

また、「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」において即時OAの対象となっている論文は、ゴールドOAでない場合に、論文を機関リポジトリで公開してオープンアクセス化すること（グリーンOA）が推奨され、この際にDOI等の識別子の報告が求められていることも考慮する必要があります。

8.事前質問へのご回答（補足資料）

Q.ハーベストの翌日にJaLC DOIが有効化されていると認識しています。
まれに数日後になることがあります。要因は何でしょうか？

A. サービス停止を伴うシステムメンテナンスや、登録メタデータのなんらかの不都合が考えられます。

ちなみに、JaLC DOIは、1日に4回、DOI財団(DOI Foundation)のシステムに送信しています。

そのため、JaLCシステムに登録した後、すぐには有効（DOI名の前に"https://doi.org." を付けて飛び先のページに遷移できる状態）にはならず、次回の定時処理で有効になります。

また登録後にURL等を変更した場合も上記のとおりすぐには有効になりません。

なお、Crossref DOI、DataCite DOIを登録される場合は、JaLCが代行登録しており、CrossrefやDataCiteにメタデータが登録されてからDOI財団(DOI Foundation)のシステムに送信されるため、多少のタイムラグが生じます。

数日経ってもDOIが有効にならない場合は、準会員の場合は取りまとめ正会員、またはJaLCサポートセンターまでお問い合わせください。

8.事前質問へのご回答（補足資料）

Q.コンテンツ種別「ジャーナルア－ティクル」の論文について、出版者名やページ数が入力されていない場合、ハーベストエラーが発生するため、「none」を入力して対応しています。
登録作業が煩雑なため、必須項目を減らしていただけないでしょうか？

A.

DOI登録機関として、オンライン出版やデータ論文など、従来型の書誌情報が存在しない場合があることを認識しています。一方で、JaLCで定義しているメタデータの必須項目は、学術コンテンツを特定するために必要な情報として、メタデータの一貫性と発見可能性を保証するために設けられており、多くのサービス（メタデータ収集システム、索引付与システム、文献管理ツールなど）は、最低限の書誌情報に依存しています。

必須項目に該当する書誌情報が存在しない場合も、メタデータの質を下げ、外部サービスで誤解を生む可能性があるため、「none」の入力は可能な限り避けることを推奨しております。

考えられる対応方法としては、出版者名には、例えば大学リポジトリや学会誌の場合、所属機関名や学会名が通常入力されています。

JaLCでは、近年の多様な研究成果の公開手段を踏まえて、CiNii ResearchやCrossref等、JaLCが連携する各サービスとも連携し、必須項目の見直しを含めたスキーマの改訂を検討していきます。